

令和2年 新しい生活様式の模索

第4代三紫会会長 小林 清隆

年末が近づいてまいりましたが、新型コロナウイルスの流行の波が心配です。このような状況にありましても、諸先輩におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

今年の三紫会総会、続いての新年会では、亘先生はじめ各世代の先輩方との楽しい一時を過ごすことができました。その際には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大など、頭の片隅にもありませんでした。そして2月クルーズ船での集団感染、屋形船での感染、その後4月にかけて国内での感染拡大はご承知のとおりです。この間に三紫会では、千葉市内高校OB合同稽古会・懇親会や、高校生の三紫会杯、新入会員入会食事会などの実施を計画していたところですが、感染拡大防止の観点から中止といたしました。新入会員には記念品を贈り、代替としたところですが、そして毎月高校の剣道場で行ってきました、OB稽古会につきましても、当面は中止ということになりました。また、九州地方を襲った「令和2年7月豪雨」や関東地方の長梅雨に続く連日の猛暑など、各地で異常気象による様々な影響がありました。ほかにも重要な出来事がありましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を抜きにしては、語るができない令和2年ということになりましょう。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、いわゆる三密の状態を作り出さない生活スタイルは、働き方をはじめ飲食業界などの営業活動に制約が伴い、経済活動が下降することになってしまいました。スポーツの世界では、2020年東京オリンピック・パラリンピックが2021年に延期され、各種イベントは、観客数の上限の設定や無観客での開催が話題になりました。高校生にとっても、インターハイや夏の甲子園大会も通常の開催は見送られ、特に3年生にとっては部活の締めくくりができず、もどかしさだけが残ったことと察します。

例年の光景と様変わりしたのは、真夏のマスクの着用です。猛暑の中での異様な光景も次第に普通に見えるようになったのも、私一人の感覚ではないと思います。剣道においても、面シールドや面マスクの着用で、声を出さないなどの指針が示され、かつて経験したことのない稽古風景が展開しています。

三紫会の東高校剣道場での定例稽古会を中止したことに代わり、9月から千葉市武道館をお借りして、毎月第二日曜日の午後7時から行うことにいたしました。このような変更も、広く解釈すれば新しい生活スタイルの一環ともいえましょう。閉塞感に覆われた令和2年ですが、三紫会の若い先輩方から、会員同士の情報共有の方法として、SNSを活用したら良いのではという意見が示され、具体的な検討を開始したところです。大学生や社会人になって日の浅い先輩方から、積極的な意見が提出されたことは頼もしく感じられ、三紫会のさらなる進展と、すそ野の拡大に向けて一筋の光が射し込んだ思いがあります。

今は、誰しもが新型コロナウイルスの早期終息を願うとともに、安全なワクチンの開発を待ち望むところです。新内閣の重要課題でもありましょ。ただ流行の波がいつ襲ってくるのか、専門家にしても明確な答えは出せず、ワクチンの開発も遅れているようです。現状では、例年通りの三紫会総会、新年会の開催に躊躇せざるを得ません。令和3年は役員改選という大事な年でもあります。しかし、今の状況を思量すると、書面をもってそれに替えさせていただくことが最善と判断するに至りました。このことについては、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

新しい生活様式の模索を継続する中での年末となりますが、皆様には体調管理に十分に配慮され、健康で幸せな新年を迎えられますよう祈念いたしております。

<寄稿1 顧問小宮先生より>

東高剣道部の顧問として

千葉東高校 教諭 小宮 初喜

私は、昭和55年3月に本校を卒業しました。生徒としては柔道部中途退部です。同学年の剣道部員には部長の樋口君や、中村君、深瀬君等がいました。在学時の柔道部は剣道部と同じく、現在小体育館が立っている場所の旧体育館（旧講堂）で稽古をしていました。当時の剣道部顧問としては、本屋敷先生の他にも菱木先生、それと畠山校長、日本史の鈴木先生の道着姿を見た記憶があります。

14、5年前に、当時小学生であった私の子どもたちに何か運動を、と立ち寄ったのが大森剣友会でした。井岡先輩始め、複数の本校卒業生がご指導されており、また同期の樋口さんがリバイバル剣道に挑んでいました。互いの長男同士が同じ学年で、剣道無経験者の私も先輩方や他の保護者の方々に支えていただいて、約5年間子どもを同剣友会に通わせることができました。

平成23年に教諭として母校に着任した私は、その3年後に剣道部の副顧問に加えて頂きました。平成27年総体予選で田中杏奈さんが、翌28年には関東予選で山崎涼雅くんが、それぞれ地区個人戦で優勝をしたことは、特に濃く印象に残っています。二人とも一日の試合の中で、見る間に別人のように強くなって行きました。高校生の伸び代の大きさと爆発力を感じました。

今年2月末に突然県下の全学校を一斉閉鎖するという知事の発表があり、5月末まで自宅学習期間となりました。部活動再開は6月の3週目からとなり、部活動の継続と新入部員の確保が懸念されましたが、男子4名、女子3名の入部があり、9月初旬現在では2年生も含めるとほぼ毎日17、8名が稽古に参加しています。私は60歳定年まであと1年少々になりましたが、主顧問である渡邊先生と力を合わせて本校剣道部を支えていきたいと思っています。

<寄稿2 顧問伊東先生より>

コロナに負けず

千葉東高校 教諭 伊東 壮哲

コロナウイルスの拡散により、2020オリンピックの延期など世界中に多大なる影響が出ているだけでなく、その影響は学校にまでおよび、生徒の日常生活を大きく変化させなければならぬほどになりました。剣道の各大会が三密を避けられない等、様々な理由から開催できなくなり、他校との練習試合もさることながら、練習時間も限られた時間しかできない状態から始まりました。それでも生徒達は限られた時間の中で、できることからやっといこうと日々ひたむきに練習に取り組む様子がみられました。今年の夏は8月に入ると一気に気温が上がり、道場の中は、ただいるだけで汗が吹き出るほどでした。そのような環境でも生徒は暑さに負けず、声を張り上げ、時にはフラフラになりながらも、上達したいという一心から渡邊先生の指導を一生懸命に聞く姿がありました。それは、この東高生の素直な心はもちろんのこと、渡邊先生と生徒との日々積み重ねた信頼関係があるからこそなのだと改めて思いました。まだ、この不自由な生活

が続くと予想されますが、このような環境下でも東高剣道部は全員で一歩一歩確実に成長していけると強く感じる夏になりました。

令和2年度千葉東高等学校剣道部活動報告

顧問 渡邊 誠一郎

剣道部の活動について報告いたします。

- 部員 27名 男子11名(3年2名、2年5名、1年4名)
女子16名(3年5名、2年8名、1年3名)
- 稽古日 月曜日から金曜日 午後4時15分から午後6時
土曜日 午前8時から午前11時
日曜日 休養日
- 大会成績 令和元年度千葉県高等学校新人大会 男子団体 3回戦(ベスト32)
女子団体 3回戦(ベスト32)
令和2年度関東大会千葉県予選会 大会中止
令和2年度千葉県総合体育大会 大会中止

令和2年初めから感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響で学校は臨時休校となり、剣道部の活動も停止しました。

大会についても、3月の全国選抜大会、6月の関東大会、8月の全国総体が中止になり、県内大会もすべて中止となりました。部員は高い目標を掲げ日々稽古に精進してきましたが、見えない敵には勝てませんでした。特に3年生にとっては高校生活締めくくりの大会がすべてなくなり、区切りがつけられない状態で引退となりました。非常に心が痛み、かける言葉も見つかりませんでした。とにかく前を向いて新たな目標、「夢」を実現してもらいたいと思っています。

新チーム(1・2年生)は6月中旬の学校再開から始動しました。最初の3週間は剣道具を着けずに足さばき、素振り等の基本動作を行い落ちた体力の回復に努め、前期中間考査をはさみ、夏休み前から剣道具を着けて稽古しています。しかし、新型コロナウイルス感染症予防のために、マスクを着け、面の内側にシールドを装着して面をつけて、非常に息苦しく、熱のこもった状態で稽古しているので普段通りの稽古ができません。現在もそのような状態が続いているので、部員とコミュニケーションを取りながら稽古内容を工夫しています。また現在、令和2年度県新人大会は開催を予定しています。3年生の悔しい思いも乗せ、地区予選会を突破して男女県大会出場目指し一所懸命稽古に精進しています。

最後に三紫会の皆様には平素より多大なる御支援を賜り感謝しております。今後も変わらず御支援、御配慮をお願いいたします。

<令和2年度 事業報告>

新年稽古初め報告

令和2年1月26日(土)の13時30分から、母校剣道場で三紫会の稽古初め稽古会が開催されました。当日は亘先生と井岡・梅澤・松島・小林・山口・野村・片山・斎藤・城之内のOB10人が参加し、東高校剣道部顧問の渡邊誠一郎先生と現役生とともに交剣知愛、心地よい汗を流しました。

三紫会総会・新年会

三紫会の総会及び新年会が、京成西登戸駅近くの「ちばぎんクラブ」にて開催されました。

26名の会員が出席して、小林会長のもと、令和2年度の予算・事業計画、及び令和元年度の決算報告と東高校剣道部・三紫会創部70周年事業計画が審議され総会で承認されました。また会則により「名誉会員」に新たに13名の先輩方が選任されました(詳細は、同封の総会資料5をご覧ください)。また、総会・懇親会を同期の同窓会に位置付け、声を掛け合い参加してくださる期も増え、和気藹々の会となりました。

平成2年 月例OB稽古会

今年の月例稽古会は、2月より新型コロナウイルス感染蔓延防止のため当面の間中止としました。この間、6月からの全剣連よりの稽古再開のガイドラインに基づき稽古会の再開を検討した結果、9月より千葉市武道館(末広)で毎月第2日曜日19時から20時30分、三紫会稽古会を再開することとしました。9月稽古会では、糸賀・井岡・松島・小林・樋口・片山・山口の7名の参加で行われました。10月の稽古会からは、県千葉高校OB会からの参加者も加え行うことができました。日曜日の夜間ということで時間的には厳しいものの、当面の間はこの形で実施することとなりました。田島先輩の指導にある「相手の心を撃つ」「相手を尊重しての稽古」を心がけ、これからも稽古会を継続したいと思います。

第11回市内高校剣道部OB合同稽古会・懇親会

令和2年2月に計画されておりました市内高校剣道部OB合同稽古会・懇親会は、今年の新型コロナウイルス感染蔓延防止のため、苦渋の決断でしたが中止とさせていただきます。これに倣い懇親会も今回は中止とさせていただきます。次年度の開催を互いに誓い合いました。

第6回三紫会杯報告

年度末に予定しておりました、三紫会主催の「三紫会杯争奪戦」も今年は中止とさせていただきます。

令和2年度三紫会新入会員紹介

令和2年3月に卒業した剣道部員生（第66期生）の入会意思確認と入会歓迎食事会も、残念ながら今年は中止とさせていただきます。

三紫会からは、入会記念として図書券を記念品として贈らせていただきました。以下に、令和2年3月卒業のみなさんのコメントを掲載しご紹介いたします。同期9名の団結よく、今後も三紫会を支え盛り立てていってくれることを期待します。

<鈴木 優太>

OBの方々にとってもお世話になったのでこれからは後輩に返していきたいです。

<辰巳 僚>

剣道部の伝統を大切にし、後輩に引き継いでいきたいです

<眞家 優星>

先輩たちからお世話になった分、後輩たちをサポートしたいと思います。

<高橋 輝里人>

今までOBや先輩方がつないできたこの会を次の世代へと伝えていけるよう新入会員として精一杯努めさせていただきます。

<木内 悠人>

現役時代、OB、OGの方々にはお世話になりました。これからは後輩が楽しく充実した部活動が送れるよう努めていきたいと思います。

<松田 莉花>

三紫会の活動を通し、後輩を様々な面から支えていけるよう頑張ります。

<渋谷 真奈>

在部中OBの先輩方に支えられてきた分、後輩たちを支えていきたいです。

<古賀 美祥>

東高の卒業生として、これからは後輩をしっかりとサポートしていきたいです。

<白谷 遥>

大変お世話になった先輩と同じ三紫会員となれることは大変光栄です。どうぞよろしくお願ひします。

<事務局からの連絡>

1 令和3年度学生幹事の紹介

主幹幹事 二間瀬 颯さん(65期)

幹事 65期・66期の皆さんです。よろしくお願いします。

2 会費納入のお願い

毎年ご協力頂き、ありがとうございます。会員の皆様からの会費で三紫会の事業運営、現役剣道部員への支援を行っております。ご協力の程、宜しくお願いいたします。

なお、年会費 一口 3,000円～ です。

70周年記念事業寄付 一口 3,000円～ です。

口座番号 00130-1-402049

※会費納入は、郵便局で同封の振込用紙をお使い下さい。

※顧問の先生方からの会費はご辞退させていただきます。

3 連絡

<昇段> 真塩 浩之先輩(第10期) 剣道教士

<訃報> は、事務局に入っておりません。(令和2年11月1日現在)

4 その他

2021年総会・新年会は、中止とさせていただきます。

三紫会ホームページアドレス

<http://sanshikai-kendou.sakura.ne.jp/wp/>



※ ホームページに QR コードよりアクセスできるようにしました。

同期または、近接期の皆さんで SNS で連絡を取り合う際には是非ご紹介ください。

また、ホームページの活用の仕方、会員間の連絡のとり方、近況報告等ありましたら

ホームページまたは、事務局までご連絡願います。